



たか子のあつたが通信

発行責任者：塩原孝子 連絡先：松本市寿北5-15-27 Email：takako092@outlook.jp ☎0263-27-1122（共産党）

みんなの力で 署名にご協力を！ 学校給食の無料化の実現を！

四賀小学校に行ってきました。
栄養教諭の先生から地産地消の取り組みを伺ったり、教室での子ども達の食事の様子を見せてもらったりしました。
有機農業の農家さんとも繋がり、給食を食べる子ども達も誰が作った野菜なのかも分かって、とっても良い取り組みでした。



毎日発行される給食だより

栄養教諭の話

食材の調達から出来上がるまで色々な工夫がされ、手間もかかっているというお話で美味しいはずと納得でした。
一歳半の息子も一緒だったので、子どもの大切な体をつくる小、中学生の時期の食育がとても大切との話しがとても印象に残りました。（kさん）

作った人の顔が見える 給食を子どもたちに

給食で地産地消の取り組みを行っている四賀小学校は、時間になると子どもたちが給食室に給食をとりに行き、作った調理員さんたちが応対する、顔の見える関係性の給食でした。

ご飯がかみごたえのある美味しい炊き上がりでしたが、子どもたちがとりにくる時間に合わせ炊き上げているそうです。

栄養教諭の先生が地元産の野菜を使えるように献立をつくり、献立にまつわるおはなしやその日の食材の地元生産者が誰かを紹介するおたよりを毎日発行しています。子どもたちが地元の生産者の方達とのつながりや食べ物のもつ栄養に興味を持つことを促す取り組みに本当に手をかけておられることを感じました。

当日は地元産りんごピューレを使ったハンバーグ、海苔を使ったあえもの、野菜の汁物というメニューでした。

香りと彩りよく、野菜の食感や豊かなお出汁の香り、和物のやわらかい酸味など食味食感によく配慮された給食は本当に美味しく、日々楽しみにするだろうなと思わせる食事でした。

このような取り組みが市全体の子どもたちまで行き渡ってほしいと思います。

（来年小学生になる子の親 Yさん）

九月議会

市議団が要望してきた

物価高騰対策補正予算が実現

上下水道

全世界に朗報です。上下水道基本料金が四カ月間減免実現しました。昨年度は上水道だけでしたが、今年度は下水道も減免になります。十月一日から四カ月間 上水道 月 858円 下水道 月 1452円

光熱費

介護・障害・市立保育園・幼稚園に対して利用者や子どもの人数に応じて光熱費対策として支援金を支給します。

入浴補助

公衆浴場の入浴料が値上げされました。福祉入浴券が引き続き百円で利用できるように、値上げされた分を浴場事業者へ支援します。

交通事業者へ

タクシー事業者に燃料高騰対策や交通決済キャッシュレス化事業等が予算に盛り込まれました。



意見書採択

「インボイス制度の延期を求める意見書」「核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書」

日本共産党・立憲民主党・社民党で共同提案した二つの意見書が賛成多数で採択されました。

画期的なことです。

一般質問

安心して暮らせる街に

包括支援センターへの行政責任を明確に

質問 高齢者総合相談窓口の地域包括支援センターは市内12カ所が全て民間委託になっている。委託内容はどのようなものか。

また、赤字包括の解消の為に委託費の増額や予防プランを切り離して業務負担を軽減すべきと考えるが？

答弁 総合相談業務や虐待対応等多岐にわたり委託。年々相談件数や緊急対応は増加している。

業務の増大は認識している。国の介護保険改正の動向を注視し、研究をしている。



よりそい型の福祉相談窓口を

生活福祉課の窓口での傷害事件を受けて、防犯カメラの再稼働ではなく、事件の検証を要望する。

質問 ①プライバシーに配慮した相談室を確保してほしい。

②障害福祉課の伴走型支援は不十分だ。ウィッシュ（広域相談センター）の役割が変わり、相談しにくくなっている。

③福祉担当課の専門性の強化が必要。ケースワーカーは全て正規にし、専門職の割合を増やすべき。

④市長の庁舎分散化構想では、福祉行政が充実できない。

答弁 ①衝立を設置するなど環境整備に努める。

②市内四カ所の地域相談センターにウィッシュの役割を委託している。体制の変更は市の広報や

養護学校・サービス事業所に周知している。
③共通課題解決のための合同研修を行う。
④本庁者のスリム化で職員が地域に出やすくなる。

現行の健康保険証を

残して

質問 ①政府はマイナ保険証をもたない人に資格確認書を発行すると言うが、膨大な作業が見込まれるが、予想される事は。

②「保険証の継続を求める意見書」を六月議会で採択したが、新聞社のアンケートに松本市は保険証は廃止と回答している。議会軽視ではないか。市長の見解を問う。

答弁 ①マイナ保険証保有者の確認が課題。国からは具体的な事務は示されていない。国の動向を注視していく。

市長 ②議会軽視ではない。政府として秋までに問題を解決をして貰いたい。見解は変わらない。

アルプス公園整備

基本計画を策定する。南側展望エリアと基本計画を策定する。基本計画を策定する。基本計画を策定する。

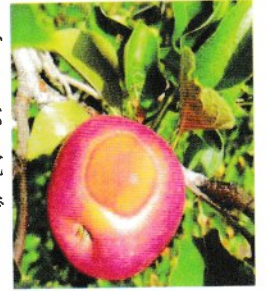
一名の差で修正案は通りませんでした。業者案をしっかりとチェックしていきます。

地球が沸騰している

今年の猛暑と渇水は、異常を乗り越して生命の危険を感じるほどでした。色づき始めたリンゴが焼けるほど（写真）。水不足で玉も大きくなりません。

稲作は多少暑くても水田の水をかけ流していれば劣化は防げることもありますが、今年は水温も上がり、お米の質も収量も深刻なダメージを受けました。

スーパーに並ぶ野菜も高騰しています。異常気象と後継者不足について、農家と消費者が一緒に考えて取り組む必要があると思います。一番手っ取り早いのは農業をないがしろにしてきた自民党の農政を変えることではないでしょうか。



(中山 農業)



隠れ教育費

声

孫のランドセル、何と9万円の請求が娘からありました！今は祖父母のお祝いになったり様です。孫の人数分のお出費がこれからあるかと思うと、年金生活者には、うれしいけど痛い出費です。祖父母に頼れない子育て世帯は大変だと思えます。入学準備に更に運動着や上履きなどが親が負担になります。学用品は全て無料にしてほしい。

(並柳 4人の孫 祖母)

今の保険証でいいよね!?

現在マイナ保険証利用者は通院者の5%未満。顔認証ができず受付職員の手がかかっています。暗証番号でのトラブルも起きています。

持ち運べる顔認証機器はなく、発熱外来や訪問看護ではマイナ保険証は使えません。

医療費の自己負担割合は年齢や収入で異なり、現行の保険証には負担割合が印字されています。マイナ保険証では機器エラーで一旦全額負担も多発しています。これは保険診療の根幹に関わる大問題です。厚生労働省もまづいと思ったのか、患者が自己負担割合を自己申告する「資格申立書」なる用紙の運用を通知しました。しかしこれは無駄に手間を増やすだけの代物です。

日本の優れた国民皆保険制度が壊される危機です。マイナンバー事業を進めてきた政権与党と受注を受けた大企業の献金・癒着が明らかになりました。(しんぶん 赤旗報道)

保険証のマイナンバーカードへの一本化はやめて、ください。(病院職員)



利用してご意見をお寄せください

オンデマンドバスの実証実験が始まりました。寿地区・寿台地区・松原地区の交通空白地域で十月から来年の三月末まで行います。

“のーと松本”は
よべば、くる
走る道や時刻が決まっていない
予約型のバスです。

- 1 まずは予約
電話やスマホアプリやLINEで乗りたい場所と時間、降りたい場所を伝えます。
- 2 バスが来る
予約した場所と時間にバスが来ます。
※時刻は前後します。
※予約番号を伝えて乗車。
- 3 降りる
予約した目的地に着きます。

運賃は1乗車300円で、乗車時に支払います。おつりのないよう用意をしてくださいます。いろいろな人の希望に合わせて、上乗せのAIが考えてバスが走り出すので、乗るに当たってに人が乗っていたり、目的地に着くまでに、人が乗り降りしたり、その時、その場でバスが走る変わります。

電話やスマホで予約すると自宅の近くの乗降ポイントまでバスが迎えに来ます。買い物や通院などに利用してください。

実証実験で大勢の方が利用すれば本格運行になります。多くの方に利用をお願いします。

乗ってみての感想や要望でより利用しやすくなります。ご意見をお寄せ下さい。

(塩原たか子)

活動日誌

松本市でAIオンデマンドバスの実証実験が始まりました。先進地域の塩尻市や県外では福島県喜多方市・会津若松市を**建設環境委員会**で視察しました。試行錯誤しながら実施実験を重ねて本格運行スタートさせていきましたが、どこの自治体も課題が多いのが実態でした。



地域づくりと共に公共交通も考えていく事が基本だと思います。

八月二十四日、漁業関係者の反対を押し切り、アルプス処理水と称した汚染水の海洋放出を開始しました。駅前中止を求める集会に参加しました。核燃料が溶け落ちたデブリに接触した水の放射性物質トリチウムは除去できません。専門家からは「大型タンク貯蔵案」や「モルタル固化処分案」が提案されています。
海洋放出は今すぐ中止すべきです。



終戦の日にあがたの森公園で行われた**平和祈念式典**。臥雲市長の式辞は岸田首相が広島式典で発言した内容を踏襲した「核抑止力論」に終始したもので、大変残念な内容でした。



コロナ禍で四年できなかった協立病院「健康まつり」が青空の下で開催されました。わたしも参加する協立うたごえサークルも**平和の歌やヘルパーの歌**など演奏しました。とつても気持ちよく歌うことが出来ました。



二期目スタートの議会報告や党の政策などを知っていただけでなく、**共産党のつどい**を三カ所で行いました。地域の課題や政治への怒りなどをお聴きしました。今後とも計画していきますのでご参加ください。



暮らしの相談から

★生活保護費が、二人暮らしでひとりの方が入院した場合に減らされると聞いたけれど、どうなのか？

入院が一カ月を過ぎた場合には一人分減額されるが、一カ月以内なら減額されないと生活保護担当者から説明され安心したようでした。

★市営団地では鳩に餌やりが禁止されています。餌やりをしている人が居るために糞の害で迷惑している。何とかならないか？



担当地区の地域づくりセンターや住宅課に

相談してエサやり禁止を徹底して貰うようお願いしました。

★生活保護を利用していらっしゃる方から、病院への通院のタクシー代の補助について一カ所しか該当しないと聞かれ困っているとの相談がありました。



生活保護の担当者に問い合わせると医師に書いて貰う書類が遅くなっていったとことで、二か所の病院通院もタクシー代が補助されることになりました。

ほっとひといき

夏休みに孫と木曾町の「木曾おもちゃ美術館」に行きました。建物もおもちゃもすべて木できています。体験型の美術館です。



木でできたぶどうやリンゴ狩り。大根抜きもでき、お蕎麦屋さんやお寿司屋さんのごっこ遊びもできるコーナーもあり、親子でゆっくり楽しめる場所です。

学芸員さんが子ども達にさりげなく声をかけてお手伝いをして下さっている姿がほほえましかったです。

雨や雪の日でも室内で遊べる空間は子育て世代に利用しやすい場所になっていくと、学芸員さんのお話しでした。市内にこのような子どもの遊び場があるといいですね。